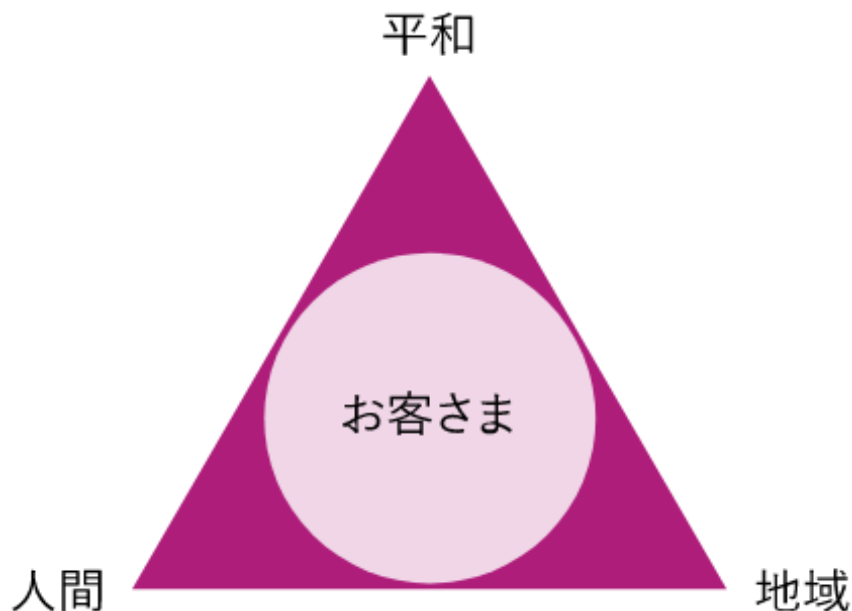


2020年度 イオンのサステナブル経営説明会

2021年1月25日
イオン株式会社

イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオンは基本理念のもと、**絶えず革新し続ける企業集団**として、
「お客さま第一」を実践してまいります。

イオンのサステナビリティの取り組み (Sustainability Compass)



パートナーの皆さまとともに
(事業パートナー、NPOの皆さま他)

Sustainable Planet

★脱炭素ビジョン2050

- スマートイオン
- RE100 再エネ活用
- EV100

脱炭素・
気候変動

★プラスチック利用方針 ★食品廃棄物削減目標

- 資源回収
- サニタリー用品・
資源管理・
食品廃棄物

■電気自動車
充電ステーション

- レジ袋削減
- 循環型社会への貢献
(Loopへの参画他)

■イオンの森づくり
(環境財団連携)

- イオン・デー
- 黄色いレシート
ご当地WAON

生物多様性

- 生物多様性アワード
生物多様性みどり賞
- 環境活動助成
(環境財団)

- 買物弱者対応
- 地域産業応援・地域創生
- C & G活動
- 包括連携協定
- 社会福祉基金

★東北復興 心をつなぐプロジェクト

- 災害復興支援
- ふるさと未来支援
(1%クラブ)

防災・災害時
ライフライン

- ボランティア活動
- BCMプロジェクト
- 災害時対応・
ライフライン機能維持

Heartful Community

★子どもの貧困 (子ども食堂支援)

- チアーズクラブ
- Eco1グランプリ
- 学校建設
- ティーンエイジアンバサダー
- アジアユースリーダーズ
- スカラシップ (1%クラブ)
- ASEP (環境財団)

地域コミュニティの
皆さまとともに

次世代
支援・育成

明るい
人生100年
社会

社会にとっての価値

★コロナ防疫プロトコル

ヘルス&
ウェルネス

- トレーサビリティ
- 店舗でのコロナ対策
- 健康ウォーク

- バリアフリー店舗
- 障がい者対応
- 認知症対応

Healthy & Empowered People

イオンピープルとともに

一人ひとりが
元気で自分らしく
輝ける暮らし

お客さま

人と人の絆で結ばれ
支えあう喜び
のある暮らし

お客さまにとっての価値

雇用・働き方・
働きがい

ダイバーシティ&
インクルージョン

食の安全・
安心

- オーガニック
- 減のめぐみ
- 契約農場畜産
グリーンアイ

人にやさしい
デジタル化社会

■ネットスーパー

人権に配慮した
公正なビジネス

- MSC/ASC/FSC認証
- フェアトレード
- 地産地消

持続可能な
調達

★持続可能な調達方針 (コーヒー)

- イオンサプライヤー取引行動規範
労働環境 (労働者の人権など)

- 情報セキュリティ
- 顧客データ管理

★健康経営

- ワークライフバランス
- 柔軟な雇用条件
- ハラスメント防止
- 最低賃金/非正規雇用
- 金融リテラシー向上
- 生活応援ローン

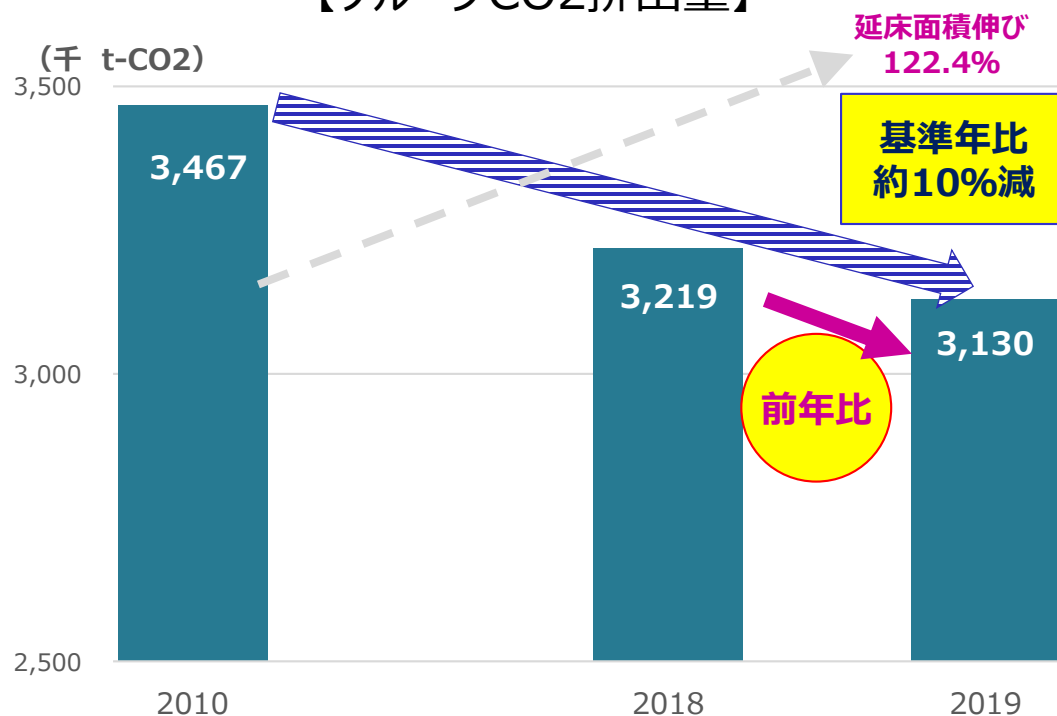
- 女性・障がい者・
高齢者・LGBT
- ※インナー+お客さま+地域

Sustainable Planet : 脱炭素・気候変動

イオン脱炭素ビジョン2050

- CO2排出量：グループでは前年度（2018年度）比約3%減
基準年（2010年度）からは、約10%の減少となる
※2010年→2019年 総延床面積伸122.4%

【グループCO2排出量】



【主要な施策】

省エネ
施策

運用改善・I初キ-AD
省エネ機器・設備導入

創エネ

太陽光発電の
オンサイトPPA など

電力系統の
CO2削減

卒FIT電源購入
CO2フリーメニュー購入

■ 先進的な省エネ技術の導入

世界初「人流等のデータとA I を活用した空調エネルギー」

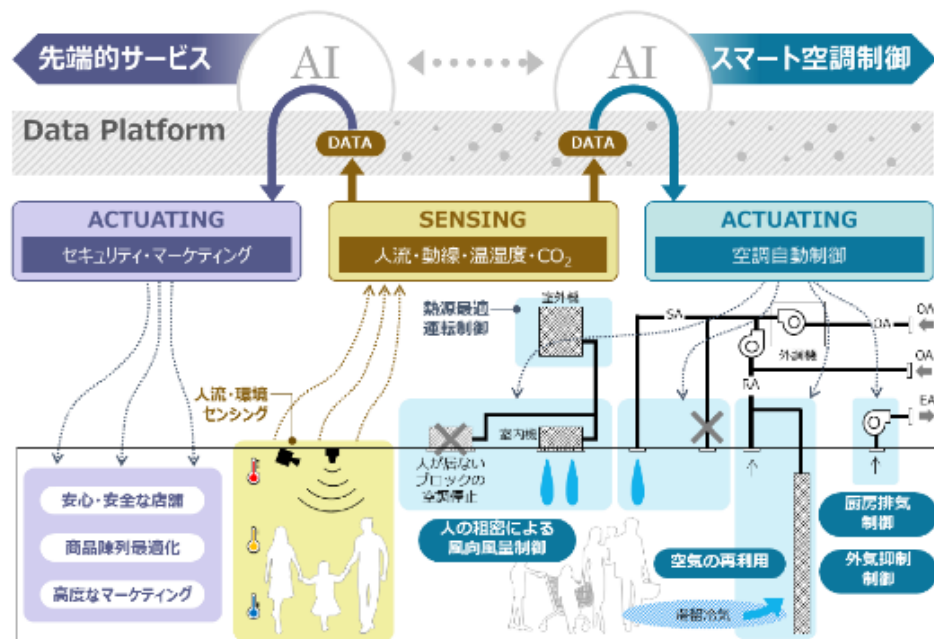
店舗の内外にカメラや温度計等の各種センサを設置、人流・動線・温湿度・CO₂濃度等をリアルタイムに感知し、蓄積されたデータを用いてA I による高度な解析・学習・予測を行うことにより、最適な空調自動制御の実現を目指す

イオンそよら海老江（20年3月 開店）

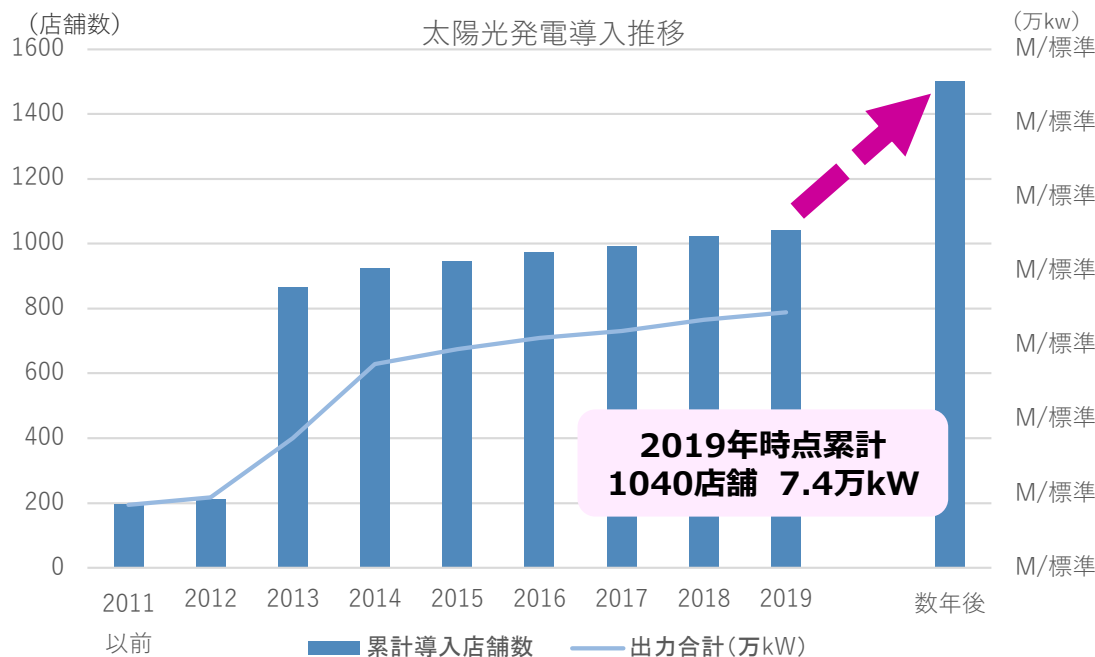


実証期間：2020年3月～2022年8月
空調におけるCO₂排出量40%削減を目指す

※実証事業者：産学5社（イオンリテール、関西電力、オプテージ、神戸大学、NSRI）



■ 太陽光発電 ～ オンサイトPPAによる再エネ調達



2020年度 4 SCで受電開始

今後PPAを順次導入
200カ所のポテンシャル

イオン藤井寺SC 2019年9月受電開始



イオンモール津南 2020年6月受電開始

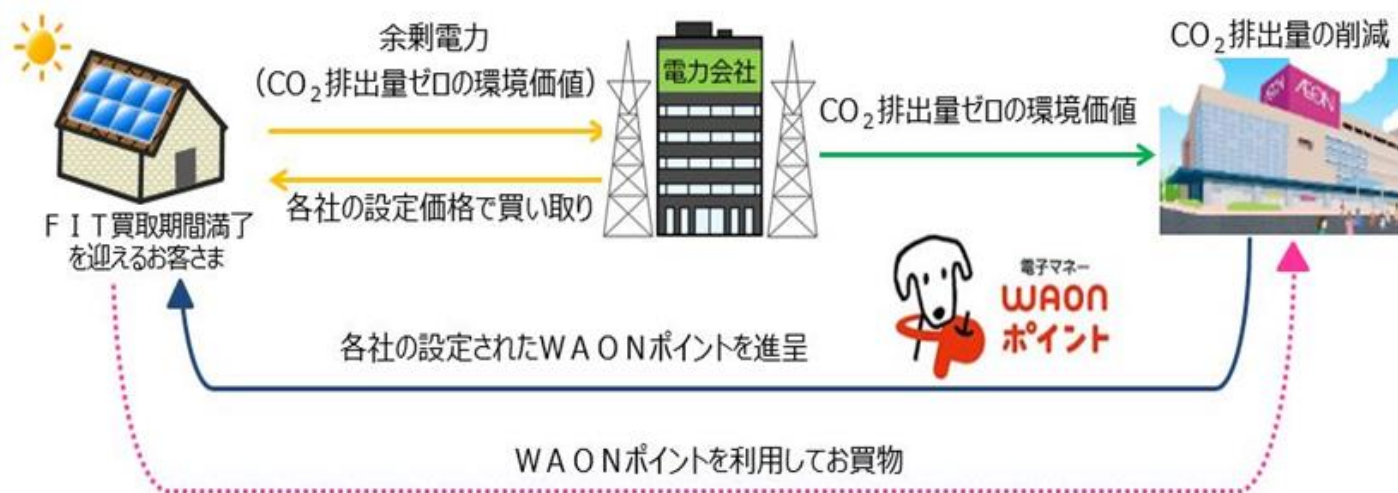


イオンタウン湖南 2020年9月受電開始



■ 卒FIT余剰電力を活用した店舗の再エネ化

FIT終了世帯からイオンの店舗へ提供した余剰電力の量に応じてWAONポイントを進呈するサービス



◆ 中部エリアで年間再エネ調達量 1,600万kWh
各SCにおける消費電力の約25%相当分を卒FITから調達した再エネでカバー

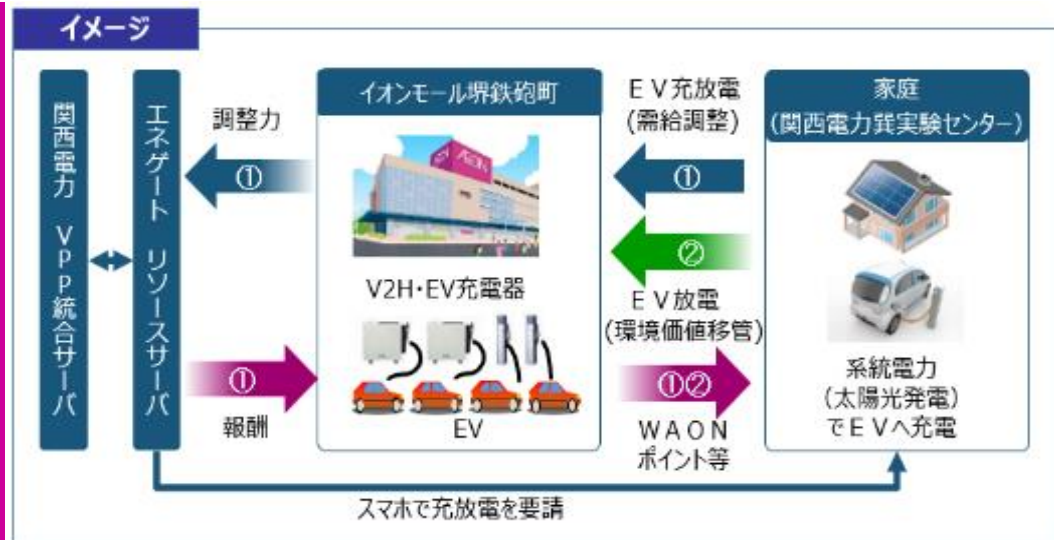
【2019年度実施内容】

①VPPの実証

経産省の補助金助成を活用

②ブロックチェーンによる 環境価値取引の実証

関西電力と協力して実験



▼モニター募集ポスター

▼実証実施写真



実証結果：計12日間実施。合計19名の一般モニターの方が参加。システムについて問題なく構築。ニュースリリースを発信したこともあり、問い合わせ多く、関心の高さが伺える。

■ V2H・EV充電器、VPP、ブロックチェーン実証実験

- ①VPP…EVを仲立ちとして、各家庭で発電した再エネをイオンモールに移行するシステムの構築
- ②ブロックチェーン…再エネの環境価値をWAONポイントに紐づけるためのAIシステムの構築

実証イメージ図



※2: 2019年度ご参加いただいたモニターさま(4家庭程度)を対象に実施

【今後のスケジュール】

- 2020年度1～2月: 一般モニター宅を利用したBC実証実験を実施予定
- 2021年度中: 次回実証実験(予定)
- 2022年度中: 事業化・他店舗展開(予定)

Sustainable Planet : 持続可能な調達

イオン持続可能な調達方針

「イオン持続可能な調達方針・2020年目標」2019年度進捗

農産物	適正農業規範（GAP）管理100%	99%
	オーガニック農産物の売上構成比5%	41%
畜産物	食品安全マネジメントシステム・GAP 管理100%（加工工場）	76%
	同上（農場）	33%
水産物	MSC、ASCの流通・加工認証 （CoC）100%取得	80%
	MSC、ASC認証比率20%	82%
	PBの持続可能な裏付け100%	38%
紙・パルプ ・木材	FSC認証原料100%（HBC）	64%
	FSC認証原料100%（文具）	54%
パーム油	RSPO認証原料100%	100%

+

コーヒー	PBの持続可能な裏付け
------	-------------

持続可能な 調達原則

- ・生産の継続性と環境・社会の持続性の観点から、リスク評価を実施し、持続可能なコーヒーの調達に努めます。
- ・生産者、労働者のコミュニティの課題解決にも寄与します。

コミットメント

- ・すべてのPBおよびイオンブランドを付して販売するコーヒーについて、持続可能性の裏付けのとれた原料を使用。

持続可能性の 裏付け

- ・イオンが認定する第三者認証を取得した原料を使用。
- ・生産者、労働者のコミュニティのニーズに沿ったプロジェクトを支援し、生活、報酬、環境、教育の機会の改善に寄与。

取り組み項目

第三者認証活用

- ・多数の生産者が世界中にあるため、裏付けの担保に第三者認証を活用
- ・複数のラベルがあるため、絞り込んで活用

プロジェクト支援

- ・2、3のPTに出資し、生産者のコミュニティの支援に取り組む
- ・特定産地の継続的な改善の見える化に取り組む



イオンリテール、ミニストップ全店で販売中。順次、グループの全国のGMS、SMに拡大。

1. 「持続可能なコーヒー」の定着

4 C 認証理解 & 実践強化

- ・持続可能なコーヒー生産の定着
- ・住民参加による現状調査
- ・4 C（社会環境 & 品質）課題に関する研修

3. 農業技術に関する支援

低投入型農業の促進

- ・現状調査 & 関係者間による計画策定
- ・環境に配慮した低投入型農業の推進
- ・農業技術向上のための研修と実践



2. コミュニティ支援

①生活改善による生活向上

- ・住民生活状況の現状調査
- ・識字教育、家庭内衛生環境改善（5S）研修

②人材育成と後方相互サポート体制構築

- ・役割分担の明確化
- ・地域リーダー対象の研修
- ・相互訪問 & ワークショップ & 評価

4. 変動の激しいコーヒー相場への対応

極端な相場下落時にも、適正価格を設定して買い取り実施。



国際フェアトレード認証



フェアトレードホットコーヒー



フェアトレードアイスコーヒー



レインフォレスト・アライアンス認証



Sustainable Planet : 資源循環の促進

イオンプラスチック利用方針

■ イオンの省資源・資源循環の取り組みの変遷



「イオン プラスチック利用方針」

※2020年9月策定

イオンは、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なプラスチック利用に取り組みます。店舗・商品・サービスを通じて、全てのステークホルダーの皆さまとともに、脱炭素型かつ資源循環型の新たなライフスタイルの定着を進めて参ります。

1. 事業活動における資源の無駄使いや使い捨て型の利用を見直し、使い捨てプラスチックゼロを目指します。
2. 必要なプラスチックは化石由来から環境・社会へ配慮した素材へ転換します。
※ライフサイクル全体での環境・社会影響を考慮し、トレース可能な紙、バイオマスプラスチック、再生プラスチック、リサイクル可能な素材等を適切に選択
3. 店舗を拠点に使用済プラスチックの回収・再利用・再生する資源循環モデルを構築しお客さまとともに持続可能な資源利用に取り組みます。

＜目標＞ 2050年CO2排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指し、

- ◆ 2030年までに、使い捨てプラスチック使用量を半減します。
- ◆ 2030年までに、全てのPB商品で環境・社会に配慮した素材を使用します。
- ◆ 2030年までに、PBのPETボトルを100%再生又は植物由来素材へ転換します。

■ トップバリュ商品 取り組み事例

小型化



- **【長巻化推進】キッチンタオル 2 倍巻**
- **【長巻化推進】トイレトーパー 1.5倍巻**
2020年下期～21年リニューアルし、全品長巻化を実現

再生プラスチック



- **フリーフロム肌洗浄剤（20年10月～）**
ボトルは飲料用ペットボトルをリサイクルした、メカニカル
ペット素材を約95%使用

パッケージ紙化



- **おそうじ用セスキ炭酸ソーダ/クエン酸/重曹**
包材の一部を紙に置き換え、計量スプーンも除くことで、
プラスチック使用量を45%削減

バイオプラスチック



環境配慮素材マークの導入

約28品目のアレ
す。含んだ原材料を
豆、りんご」を含
す。

換算した数値です。
●包材の材質/袋: ポリプロピレン、ポリエ
チレンの複合素材、留め具: ポリスチレン

袋: 留め具
ごみの分別は自治体の
区分にしたがってください。

包材には植物由来のバイオマス原料を
使用したフィルムを配合しています(包
材全体に対して6%)。バイオマス由来
の成分を含むインキを使用しています。

- **パンドミ フィルム**
(20年9月リニューアル)

■ 店頭資源回収

1991年より、循環型社会を目指して、食品トレー、紙パック、アルミ缶などの回収ボックスを店頭で設置。回収した紙パックやアルミ缶等をリサイクルし、その一部を、「トップバリュ」商品の原料に使用するなど、資源循環を積極的に促進。

2019年度実績

ペットボトル

回収量

約 **1億9,019万本**

回収量 **11,982t**

CO2削減量 **43,136t-CO2**

再生化学繊維など

紙パック

回収量

約 **1億5,470万本**

回収量 **4,641t**

CO2削減量 **2,321t-CO2**

TVトイレットペーパーなど

食品トレー

回収量

約 **4億4,770万枚**

回収量 **3,133t**

CO2削減量 **19,744t-CO2**

再生トレーなど

アルミ缶

回収量

約 **3億4,738万本**

回収量 **5,558t**

CO2削減量 **47,800t-CO2**

TVレンジカバーなど



■「ボトル to ボトル」資源循環モデルの構築

- 2030年までに、PB商品のペットボトルを100%再生又は植物由来素材へ転換
- イオンと丸紅が協働で、使用済ペットボトルの回収・運搬から製品化までを一気通貫で行い、安定的かつ持続的な資源循環モデルを構築する

イオン×丸紅「ボトル to ボトル プロジェクト」概要

目指す姿

国内リサイクルボトルの割合
II
回収ペットボトルの約10%

ペットボトルの完全循環

- 効率的な回収・運搬
- ボトルtoボトル技術

2021年2月～実証



グループ横断の回収・運搬スキームの構築
※2月～関東エリアから実証開始

全国展開



21年6月頃の商品化を予定

Sustainable Planet : 資源循環の促進

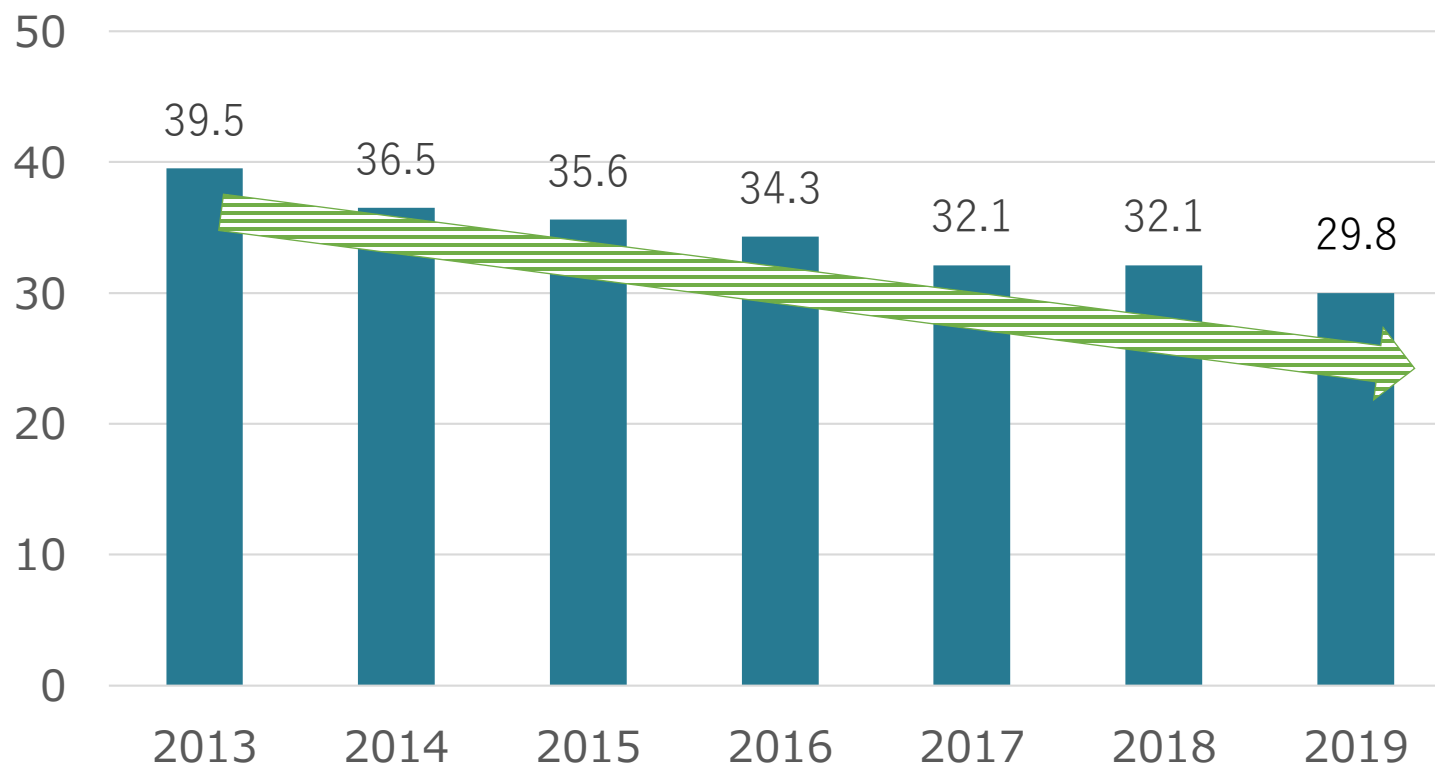
イオン食品廃棄物の削減

食品廃棄物発生原単位削減目標

35.6 kg/百万(2015年度) → 26.7 kg/百万(2020年度)

<イオングループの食品廃棄物発生原単位の推移>

単位：kg/百万円





WORLD
RESOURCES
INSTITUTE

10×20×30

- 世界の小売**10**社が、**20**社の重要サプライヤーと協業し、「目標設定－算定－行動」のアプローチで、**2030**年までに、参加サプライヤーと共に、食品ロス・廃棄物半減のために、取り組みを実施。
- この動きを、さらに、**サプライチェーン全体**に波及させ、食品ロス・廃棄物の半減に資することを目指している。

小売
メンバー
(12社)



Ahold Delhaize



Carrefour



METRO

Pick n Pay

SAVOLA

sodexo

TESCO

Walmart

MIGROS



味の素株式会社



伊藤園

イトウフレッシュサラダ



kikkoman

kewpie

KIRIN

SUNTORY



Nニチレイ



日本デリカフレッシュ

HIKARI MISO

VEGETECH



森永乳業

LOTTE



ヤマザキ



AEON
農場



afs
イオンフードサプライ

イオンと共に
取り組む
メンバー
(21社)

WRI (World Resources Institute) : 地球環境と開発に関する政策研究・技術開発を行う米国の非営利団体

2020年 主な取組み

- ・21社がウェビナーでWRIの算定・報告方式を研究
- ・SDGsの食品ロス廃棄半減目標設定をふまえ意見交換



2021年 活動計画

- ・各社の目標の共有、ベストプラクティスの公表
- ・各社との商品取引を通じた取り組み
- ・環境社会面での共通課題での協業



WORLD
RESOURCES
INSTITUTE

<商品取引を通じた取り組み>

- ・規格外の活用
- ・製造副産物の利用
- ・見込生産への対応
- ・不振在庫への対応
- ・終売時の対応

<環境社会面での取り組み>

- ・消費者啓発
- ・消費期限延長の取り組み
- ・寄付の仕組みづくり
- ・食品原料として活用
- ・飼料化・肥料化

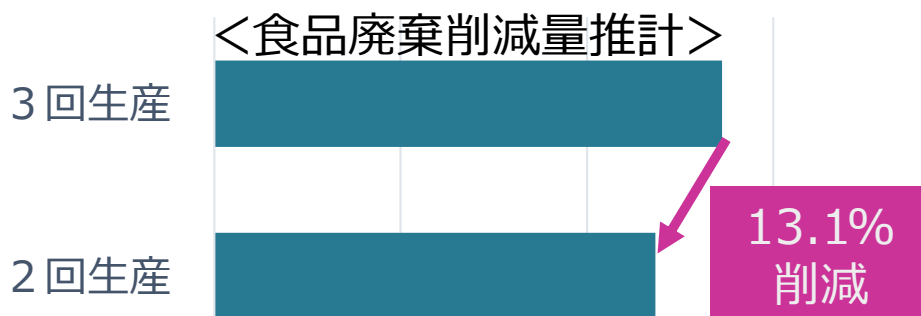
商品取引の見直しを通じた食品ロス削減の取り組み

リードタイム
の確保

- ・発注時間の前倒しと出荷時間の後ろ倒し
- ・生産・納品・店舗運営体制の最適化による効率改善

日本デリカフレッシュ様 X ミニストップでの取り組み

- ・弁当・おにぎり・寿司類について、1日の製造回数と納品回数を削減
- ・リードタイムの確保、効率改善により、工場の食品廃棄量が減少。



食品ロス削減

+

生産効率の改善

物流コスト削減

店舗運営の効率化

Heartful Community : 街づくり・絆づくり、次世代支援・育成

地域コミュニティの 皆さまでともに

東北復興支援「イオン心をつなぐプロジェクト」活動報告

2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

第1期
《初期的構築期》

被災地の早急な
『**復旧・復興**』を支える

第2期
《自立拡大》

『**交流と拡大**』をテーマに
支援

第3期
《整理充実期》

『**地域課題への集中と実践**』をテーマ
に持続可能な支援

次のステージへ

東北復興ふるさとの森づくり植樹活動（30万本目標）

目標達成

→ 316,419本

グループ各社が実践するボランティア活動（30万人目標）

目標達成

→ 377,150人

イオン未来共創プログラム

地域との継続
的な交流を
通じて、
地域課題の
更なる
解決を支援



イオン未来共創プログラムの主な事例

■ 岩手県大槌町「かねさわクレソン」

放棄地となった休耕田を再生し、清らかな沢水で育てたクレソンです。



■ 岩手県「釜石・遠野ワイン」

2014年、イオンのボランティアが植えた苗から「釜石ワイン」が誕生しました。



■ 岩手県遠野市「米通どぶろく」

遠野市の限界集落「米通地区」の無農薬米を使った本格的などぶろくです。



■ 宮城県南三陸町 YES工房工芸品

福幸タコ（オクトパスくん）や木工品・まゆ細工商品など幅広く展開できます。



■ 宮城県丸森町耕野地区「ころ柿」

交流を通して全国にファンをもつ丸森町の「ころ柿」と農産物をお届けします。



■ 福島県南相馬市「南相馬市産農産物」

南相馬のお米、野菜、加工品を震災前のように普通に購入して欲しい。



■「イオン子ども食堂応援団」を発足

コロナ禍で特に大きな負担を強いられている子どもたちと、子育て世帯のくらしを応援するため、NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえと連携し、各地の子ども食堂を通じて、継続的な子どもの「食」支援を行う



【主な取り組み】

- ◆ 全国のイオン店舗を活用した場の提供や、イオン防疫プロトコルを通じた開催支援。（季節イベントや啓発活動等の取り組みの場合）
- ◆ イオンの各事業会社をあげての募金活動（12月）
- ◆ 公益財団法人イオンワンパーセントクラブによる寄付
- ◆ むすびえと地域行政の連携スキームを用いての支援

世田谷区との取り組み

「緊急サタアクション」：
昨年12月世田谷区で子ども食堂を運営している発起人のはるな愛さん、世田谷区、世田谷区社会福祉協議会、むすびえ、イオンの5者が連携。
世田谷区から情報発信を行い、子ども食堂を通じて1万食の食材を配布。



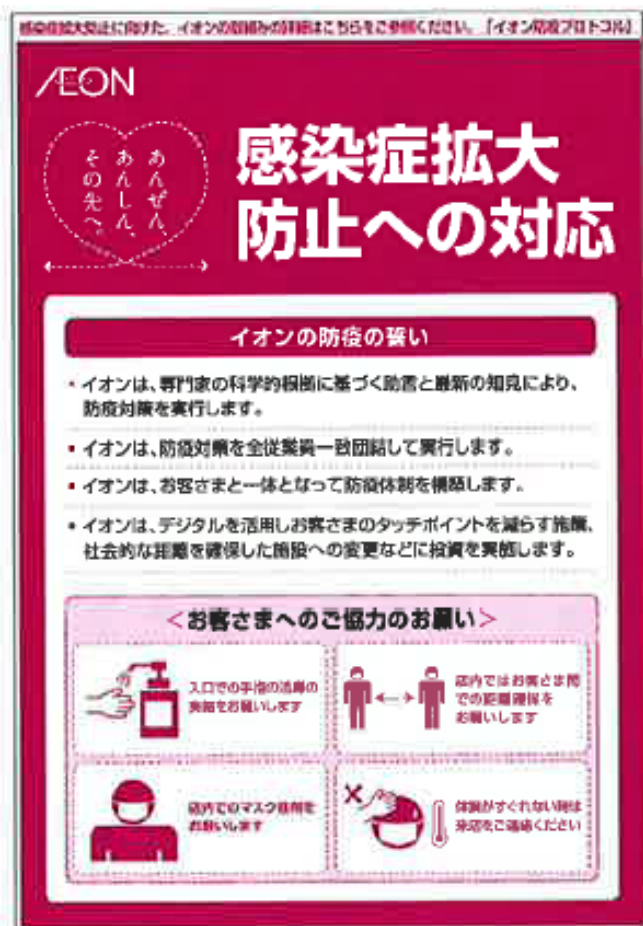
イオン相模原店での活動

むすびえ様にご紹介いただいた店舗周辺の子どもの食堂と連携し、募金期間中、店頭で子ども食堂の啓発活動を実施。多くのお客さまから募金をお寄せいただきました



イオン新型コロナウイルス 防疫プロトコル

2020年6月30日 お客さまとともに地域社会の「安心・安全」な生活を築く「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」を制定



目的

- ・新型コロナウイルスの感染が流行している中で、イオンは地域のお客さまとともに本プロトコルを一時的な取り組みでなく継続的に実行してまいります。防疫が生活の一部となる社会を実現し、お客さま及び従業員の健康と生活を守り、お客さまとともに地域社会の「安全・安心」な生活を守ってまいります。

イオンの防疫の誓い

- ・イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により防疫対策を実行します
- ・イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します
- ・イオンは、お客さまと一体となり防疫体制を構築します
- ・イオンは、デジタルを活用しお客さまのタッチポイントを減らす施策、社会的な距離を確保した施設への変更などに投資を実施します

お客さまと従業員の安全を最優先に、 「新しい生活様式」への対応を、お客さまとともに推進

日々の暮らしを、
新しい日常を、
地域の皆さまと一緒に守りたい

—イオンの約束—

- 従業員のマスク着用と手指の消毒
- 従業員の検温の実施と健康監視の徹底
- 売場、お買物カゴ、フードコート、エスカレーターの手すりやエレベーターの操作ボタンなど、共用設備の消毒徹底
- 店内換気の実施や販売方法の見直し
- 飲食店舗、フードコートやイートインコーナーの感染対策

—お客さまへのお願い—

- ご来店時のマスク着用
- 手指の消毒・検温の実施
- エスカレーター、エレベーターでの移動やレジでお並びいただく際は一定間隔を確保
- 店内混雑時の入場制限へのご協力
- お会計時の電子決済やセルフレジのご利用

地域のライフラインとして営業を継続し、この社会的危機を乗り切るためにも、イオンは、地域の皆さまと一緒に、新しい生活様式を築いていきたいと考えております。

この非常時の中で、いつもと変わらず、笑顔で働く従業員は私たちの誇りです。

これからも、イオンビーズは心をつなげて、地域の皆さまとともに暮らしを支えてまいります。

より安心してお買物いただける環境づくりのため、ご協力をお願いします。

お客さまへのご協力のお願い



入口での手指の消毒の実施をお願いします



店内でのマスク着用をお願いします



店内ではお客さま間での距離の確保をお願いします



体調がすぐれない時は来店をご遠慮ください

2020年11月11日 「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」改定

改定の目的

主な感染経路と考えられる閉鎖空間での飛沫感染防止対策を強化する内容などを新たに織り込み改定

改定項目

飛沫感染防止

◆社会的距離の確保

- ① フードコート・レストランゾーンや美容院・ジム等座席間隔や入場人員を明確に表示します。
- ② 社会的距離（2m～1m）確保できない場合は、アクリルボードを設置します。

従業員感染拡大の撲滅

◆施設内・後方施設の感染防止策を徹底

- ◆「新型コロナウイルス対策ハンドブック」配布とネット閲覧によりマスク着用の重要性を周知。

発生後の2次感染防止策

- ◆感染発生時の対応について、従業員・お客さまそれぞれに感染した場合の対応について明記します。

飛沫感染防止 ◇施設内換気と空気浄化 ～安心・安全なショッピングセンター環境を目指して～



◇外部に面したフードコートでは、換気扇を増設し、換気をさらに促進。

(イオンモール幕張新都心)

◇高性能空気清浄機の設置による空気浄化促進。(イオンモール高知)



設置イメージ

◇新型コロナウイルス感染力抑制光触媒方式除菌機を、新たに全国72S C、約1,000台導入。
(イオンタウン株)

飛沫感染防止 ◇施設内換気と空気浄化 ～アミューズメント事業の取り組み～



◇カルテック社光触媒方式による除菌機
をお客さまが長時間滞留する区画に
一定間隔で複数台設置し、ウイルスに
よる感染症予防を徹底。
(モーリーファンタジーふじみ野)

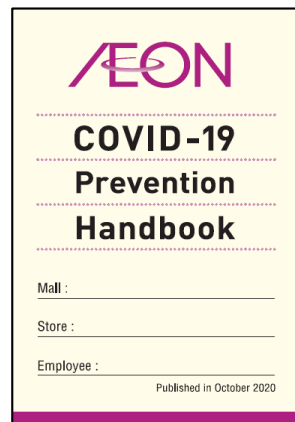


◇座席間パーティー
(イオンシネマ市川妙典)

◇ウイルス対策大型空調システム
「トレイン・トリプルエアシールド」を導入し、
閉鎖空間での空気浄化促進。
(イオンシネマ市川妙典、幕張新都心)

従業員感染拡大の撲滅

◇全従業員・お取引先さまに「新型コロナウイルス対策ハンドブック」を配布



配布

グループ全従業員、
お取引先さま 計150万部

対応言語

日本語・英語・中国語
ベトナム語・ネパール語

改定

8月初版
11月度改定

イオンスタイル幕張新都心、バックヤード防疫対策実証



作業区分ごとに
ディスペンサー設置

入室定員を表示

抗菌抗ウイルス
コーティング など

インフルエンザ予防接種の接種推奨など

同時流行が懸念される季節性インフルエンザ予防接種の接種推奨を行う。

- 6月 推奨案内
- 7月 全額補助の案内
- 8月 集団接種の調整

コロナ関連の案内を徹底
＜一例＞

- 職場復帰者へのケア
- 自宅療養者のフォロー
- 妊娠中勤務者への配慮

緊急事態宣言下のサービス・専門店事業の出向

就労機会の確保が必要な従業員を、雇用確保目的で短期出向

サービス・専門店事業
14社の従業員
のべ1,160名
(1週間ごとに1名とカウント)

2020年4月13日
~5月31日

食品スーパー
ドラッグストア等
17社

外食作業などからの受け入れ

UAゼンセンを通じて、外食産業等からの要請に基づき受け入れ

外食産業7社
約200名

2020年5月
~9月20日

グループの
食品スーパー等
5社

持続可能な経営を支える 「人」に関する取り組み

イオン基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、
「お客さま第一」を実践してまいります。

イオン健康経営宣言

イオンは、従業員と家族の健康をサポートします。
そして、従業員とともに
地域社会の健康とハピネスを実現します。

グループ各社に各社健康推進体制を整え従業員と家族の健康をサポート

グループ健康責任者

イオン健康推進室

委員長：推進責任者（イオン(株)人事・管理担当）

委員：主要事業会社推進担当

イオン(株)人事企画部

イオン(株)総括産業医・保健師

イオン健康保険組合

イオングッドライフクラブ（グループ共済会）

イオン健康推進室の役割

グループ共通の取組みとして推進するため、また、グループ各社が、継続的に健康経営を実現するため、大きな方向性と目標を設定し、進捗を確認する

労働組合

各社健康推進体制

推進責任者
推進担当者

各社健康保険組合

店舗
事業所

店舗
事業所

店舗
事業所

健康保険組合健康管理委員

グループ全体の取り組み

ホワイト500取得推進
高血圧受診率改善

イオン健保

ダイエー健保
マルエツ健保
カスミ健保

イオン健康推進室

イオン健保
加入会社

グループ健保
加入会社

専門的な 分析と対策

外部との連携
感染症対策

大学

公的機関

イオン健康推進室

イオン健保
加入会社

グループ健保
加入会社

データに基づく コラボヘルス推進

健康データ一元化

イオン健保

イオンアイビス

イオン健康推進室

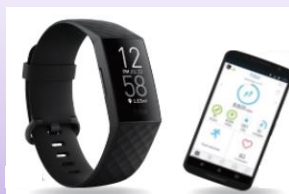
イオン健保
加入各社

受動喫煙対策



マナーから
ルールへ

リテラシー向上と行動変容（ナッジ）



fitbit
&
Pep Up

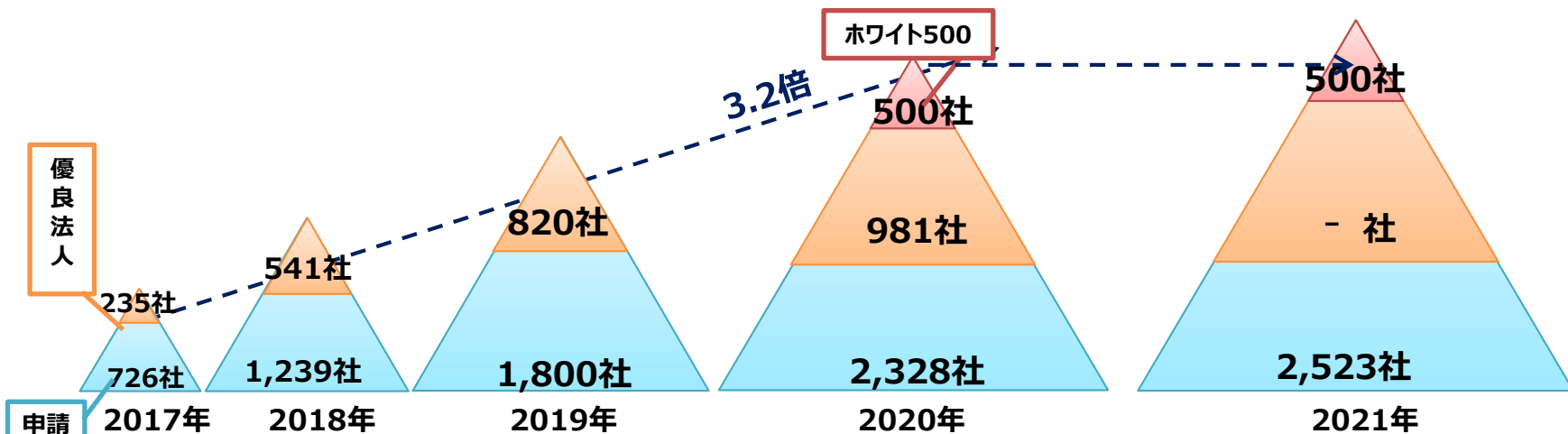


調査概要

- 調査名 : 令和2年度 健康経営度調査(従業員の健康に関する取組についての調査)
- 調査主体 : 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課
- 調査期間 : 令和2年8月 ～ 10月
- 令和2年 回答社数 : 2523 社 (うち上場企業970社)



2021認定へ16社エントリー中



イオングループ
認定取得企業

2社

・イオン
・イオンリテール

3社

10社

2020取得企業

・イオン
・イオンリテール
・イオン九州
・イオンフィナンシャルサービス
・イオンクレジットサービス

14社

・イオンプロダクトファイナンス
・イオン保険サービス
・イー・シー・エス債権管理回収
・A C Sリース
・イオン住宅ローンサービス
・イオンモール
・イオン銀行
・イオンリートマネジメント
・イオン少額短期保険

イオンの健康経営 ～イオン健康経営と禁煙の歩み～



健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

2020年2月 健康経営優良法人・ホワイト500取得拡大（14社）

2020年 改正健康増進法 原則屋内禁煙
お客さま・従業員喫煙室 臨時閉鎖（防疫）

2019年7月 イオンタワー・イオンタワーアネックス
全面禁煙

2019年 イオン健康推進目標
喫煙者数10%削減

2018年 毎月12日・22日禁煙デー
従業員喫煙室数削減 禁煙外来補助

2017年 毎月22日は禁煙デー

2017年1月 イオン健康経営宣言 健康経営優良法人ホワイト500初取得



2021年3月までに イオン国内115社全事業所
約45万人の従業員が就業時間内・敷地内禁煙を開始

就業時間内禁煙 敷地内禁煙の実施

勤務時間中は禁煙

会社所有の建物・敷地内
社用車での禁煙

勤務開始45分前までに
喫煙終了（休憩時間含む）



企業として 卒煙サポート強化

禁煙支援の実施

- ・オンライン禁煙プログラム
- ・禁煙外来補助
- ・ノンスモ禁煙サポート
- ・卒煙セミナー開催

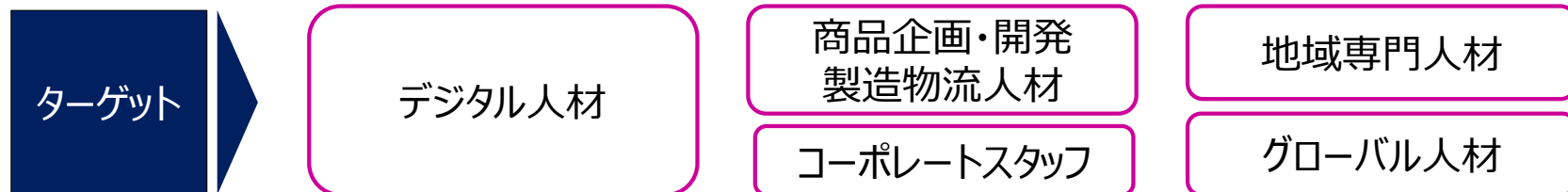
禁煙啓発情報の発信

- ・卒煙ポスター掲示
- ・ホームページ
- ・PepUp情報発信
- ・機関誌による啓発

2020年度推進目標：喫煙者 前年比 **25%削減**

お客さまと従業員の安全・安心な環境づくり

新たな価値を実現できる専門人材の獲得を拡大



新たな採用メッセージ



✓ 専門人材に対するアピール力を訴求

イオンは、今までの「当たり前」という壁を破り、夢と輝きにあふれた、新しい未来を創造していきたいと考えています。

未来の創造は、多様な人材の強い思いから始まります。

イオンでは、多様な人材がそれぞれの強みを生かし合いながら、事業や組織の境界を打ち壊し、リアルとデジタルの次元の壁さえも超越し、新しい未来を創造し続けています。

多様性こそが、私たちの成長の源泉です。

私たちは、これからも新しい仲間とともに変化を巻き起こし、「夢のある未来」を創造していきたい。

イオンは変わる。あなたとともに。
未来をつくるのは、あなたの力です。

(一部省略)

新卒採用とキャリア採用比率「50」:「50」を目指す

多様な働き方を志向するパートタイムを含めた地域人材登用（2021年約1,000名）

デジタル人材の採用マーケティングを強化

- 必要なデジタル人材を描き、採用できるまでの土壌を構築（HLD～各社で展開）

要件策定

チャネル選定

ダイレクト採用

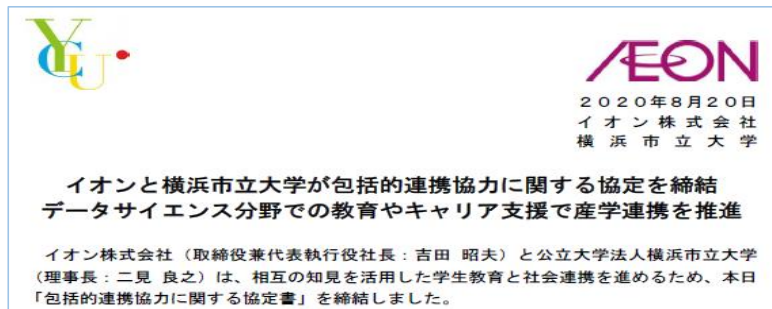
ネクストアクション

- Tech系イベントで責任者が登壇。関心の高いテーマを話しデジタル人材に魅力度を訴求



2020年2月 Tech系イベント開催

- データサイエンス分野での教育やキャリア支援で産学連携を推進



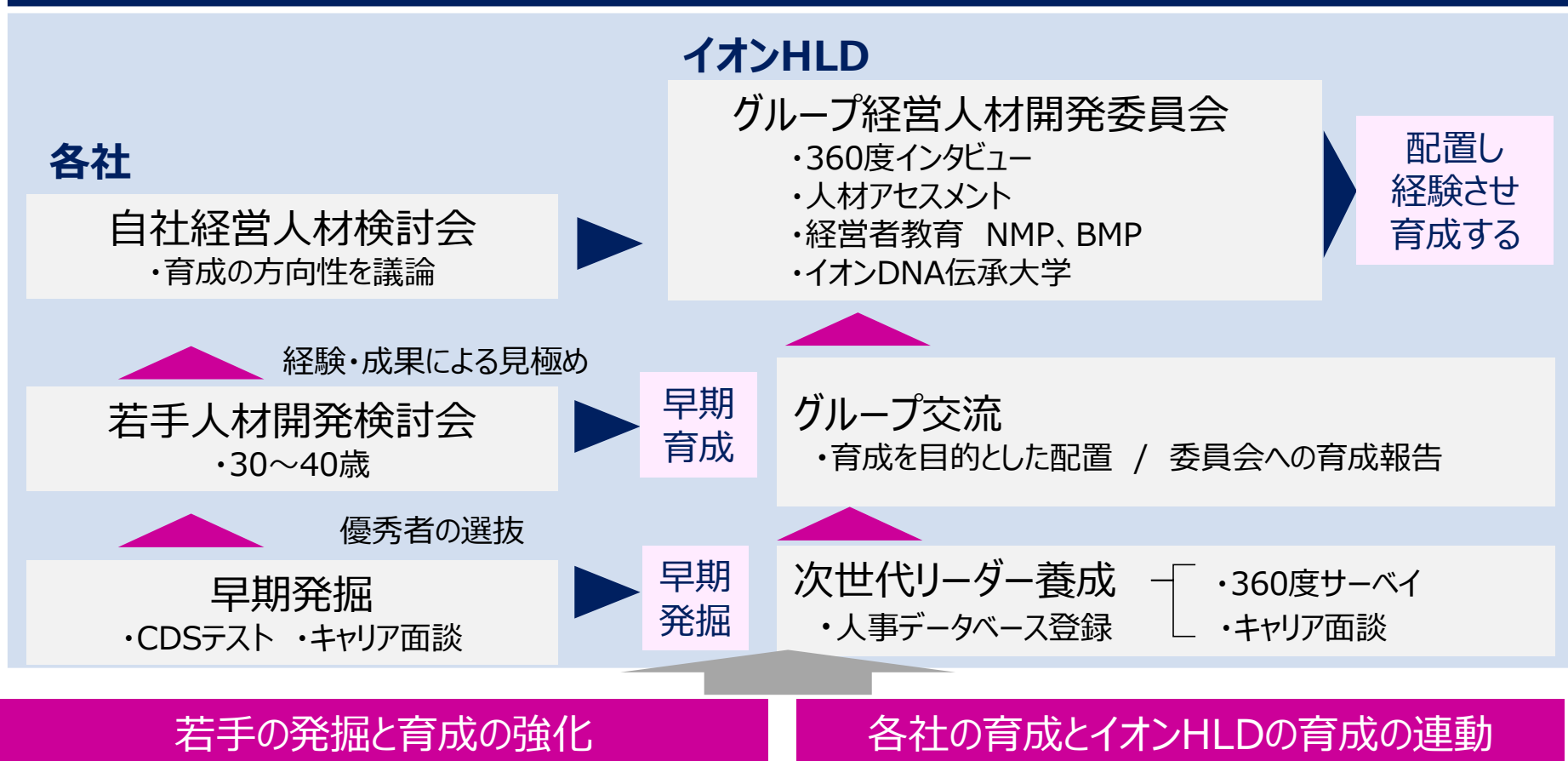
2020年8月 ニュースリリース（抜粋）



2020年9月 Tech系インターンシップ開催

- グループの経営を担う、各社の経営リーダーを育成
- グループ全ての会社、それぞれが経営リーダーを育成しグループの継続的な成長を目指す

「育 成」の フ ロ ー



イオンは、1989年小売業でいち早く社外の役員を招聘し、
常に経営の透明性、独自性を重視。
2003年には、国内企業で先駆けて「委員会等設置会社へ移行」し、
公明正大な企業経営を実践。

	2003年	2007年	2008年	2009年	2013年	2016年	2018年	2019年	2020年
会社形態	事業持株会社		純粋持株会社（2008年8月～）						
企業統治の体制	指名委員会等設置会社（2003年5月～） 指名・報酬・監査の3委員会の議長、委員過半数は社外取締役								
取締役	8名	7名	7名	9名				8名	7名
(内:社外取締役)	4名	3名	3名	5名（過半数）				5名	4名
(内:女性)					1名				
(内:外国人)							1名	2名	
方針						コーポレートガバナンス基本方針制定			

參考資料

イオン 脱炭素ビジョン2050

イオンは、3つの視点で温室効果ガス（以下CO₂等）排出削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。

店舗

店舗で排出するCO₂等を2050年までに総量でゼロにします。

商品・物流

事業の過程で発生するCO₂等をゼロにする努力を続けます。

お客さまと
ともに

すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。

2030年までにCO₂排出量35%削減（2010年比）

※SBT承認済

農産物

- ・プライベートブランドは、GFSIベースの適正農業規範（GAP）管理を100%実施をめざす。
- ・オーガニック農産物の売上構成比5%をめざす。

畜産物

- ・プライベートブランドは、GFSIベースの食品安全マネジメントシステム（FSMS）または、適正農業規範（GAP）による管理を100%実施をめざす。

水産物

- ・連結対象のGMS、SM企業で、MSC、ASCの流通・加工認証（CoC）を100%取得をめざす。
- ・主要な全魚種で、持続可能な裏付けのあるプライベートブランドを提供する。

紙・パルプ ・木材

- ・主要なカテゴリーのプライベートブランドについて、持続可能な認証（FSC認証等）原料の100%利用をめざす。

パーム油

- ・プライベートブランドは、持続可能な認証（RSPO等）原料の100%利用をめざす。

※2017年4月策定

※2017年10月策定

イオングループ食品廃棄物削減目標

1. 食品廃棄物を2025年までに半減

発生原単位(売上百万円あたりの食品廃棄物発生量)を2015年度比で、
2020年までに25%削減、2025年までに50%削減

2. 食品資源循環モデルの構築

店舗・生産者・リサイクル業者等の連携による地域循環モデルを
2020年までに全国10か所・グループ1000店舗以上で構築